

(1)活動指標について（案）

柱	活動指標	前期計画の実績	目標の設定の考え方
安全	自転車走行空間の整備距離 (km/計画期間)	・目標 15.8km/5年 ・実績 10.9km/5年 (H23~H27) ※延べ整備延長実績 20.5km (H17~H27)	・新たな自転ネットワーク路線から、交通量, LRTの電停につながる路線, などを抽出 ・年あたり 7km の整備 ・矢羽根などの整備手法による整備も踏まえ整備距離を設定
	交通安全教室の実施 (回数/年)	・目標 6回/年 ・実績 9回/年 (H26) (スクリーン方式)	・前期計画期間における実施回数と同程度の回数を設定
快適	レンタサイクルの利用者 (人数/年)	・目標 41,000人/年 ・実績 45,707人/年 (H26)	・前期計画期間における利用率(電動アシスト自転車も含む)の伸び率を踏まえ利用者数を設定
	自転車の駅の設置 (箇所数/計画期間)	・目標 36箇所/5年 ・実績 44箇所/5年 (H23~H27)	・市内や市外につながるサイクリングルートにおける自転車交通量や利用状況を踏まえ配置箇所を設定
	中心市街地周辺の放置禁止区域内における放置自転車 (台数)	・目標設定なし ・実績 310台 (H26) ※瞬間放置自転車台数	・前期計画期間における中心市街地の放置自転車の削減率を踏まえ台数を設定
楽しく	宮サイクルステーションにおける来館者 (人数/年)	・目標設定なし ・実績 5,692人/年 (H26)	・前期計画期間における来館者の伸び率を踏まえ来館者数を設定
健康とエコ	自転車モニター事業参加者数(実績値)	・目標設定なし ・実績なし	・後期計画における実績(H28)を踏まえ設定
つながる	交通結節点への駐輪場新設整備箇所 (箇所数/計画期間)	・目標設定なし ・実績 3箇所/5年 (H23~H27) ※バス停付近の駐輪場	・鉄道駅(JR岡本駅), バス停, LRT電停付近などの駐輪場の整備箇所数を設定

(2)成果指標について（案）

前期計画(H23~H27)の実績	後期計画(H28~H32)の目標の設定の考え方
成果指標(目標値の設定なし)	成果指標(目標値を設定)
<<ア 交通事故件数>> ・自転車に関わる交通事故件数の把握 【実績】自転車事故件数 H22: 629件 ⇒ H26: 421件	<<ア 交通事故件数>> ・自転車に関わる交通事故件数の把握 ※前期期間の実績を踏まえ設定
<<イ 自転車利用者数>> ・通行量調査や通行量調査などから把握 【実績】中心市街地の平日朝2hの通行量 H21: 10,061台/2h ⇒ H26: 10,414台/2h	<<イ 自転車利用者数>> ・チャレンジ目標の自転車分担率と統合 ⇒利用者数については, 自転車分担率を活用し, 算出するため, 分担率の値で包含する。
<<ウ CO2削減量>> ・自転車利用者数の状況やアンケート調査から, 自動車からの転換によるCO2削減量を推計 【実績】自動車通勤から転換し, 削減したCO2 H23~H26累計: 5.6t-CO2	<<ウ CO2削減量>> ・チャレンジ目標の自転車分担率と統合 ⇒CO2削減率については, 自転車分担率を活用し, 算出するため, 分担率の値で包含する。
<<エ 市民満足度>> ・世論調査などから自転車施策に係る満足度を把握 【実績】「自転車の使いやすさ」の質問に対する「そう思う」, 「ややそう思う」の回答割合 H21: 29.6% ⇒ H26: 28.5%	<<エ 市民満足度>> ・チャレンジ目標の市民満足度と統合 ⇒チャレンジ目標と同項目であるため, 統一する。
チャレンジ目標(前期計画策定時に, 10年後の目標値(H23~H32)として設定)	
<<オ 自転車交通分担率>> ・国勢調査において, 通勤・通学における自転車の利用割合 【実績】前期計画策定時(H12実績): 20% ⇒後期計画策定時(H22実績): 17.8% ⇒目標(H32): 25%	
<<カ 市民満足度>> ・市政世論調査において, 「自転車を使いやすいまち」の質問に対する回答割合 【実績】前期計画策定時(H21実績): 29.6% ⇒後期計画策定時(H26実績): 28.5% ⇒目標(H32): 50%	